

●巻頭インタビュー

「うれしいバカヤロウ」



リチャード・ハルバーシュタットさん
イギリス出身
石巻専修大学理工学部准教授

リチャードさんは震災後、「石巻にとどまった外国人」としてテレビや新聞など、メディアに大々的に取り上げられました。また、ご自身の震災の経験などがまとめられた本を上梓されました。

石巻専修大学のリチャードさんの研究室を訪れたのは2011年12月初旬のこと。震災直後から避難所となり、キャンパス内のグラウンドはヘリポートだったと言います。つい最近まで「石巻市災害ボランティアセンター」の本部が置かれていたそうですが、それも移転となりようやく元のキャンパスになりました、と研究室に案内してくださった同大学の職員の方に伺いました。

リチャードさんは控えめで人見知りをする性格とのことでしたが、私たちの質問に静かなるマシンガントーク(?)で時にユーモアを交えながらお話しいただき、3時間近いインタビューとなりました。

——このたびリチャードさんの本が上梓されたとのことでしたが…

そうなのですが、だいぶ迷いました。私は確かに被災者ではありますが、家も車も無事でしたし、私なんかよりはるかにたいへんな思いをされている方がたくさんいらっしゃいます。それから、一部報道ではボランティア活動に熱心に取り組んでいたように報じられましたが、当時は動ける人はみんなごく自然に助け合っていましたし、私もただそうしていたのにすぎません。私の長年の友人の中には、被災者支援や復旧・復興のためにリーダーシップを発揮している人が少なくありません。そういう人を取り上げずに「どうして私が」という思いがまだにあります。ですが、石巻のために情報を発信できるチャンスが私に与えられたのですから、「一石巻市民」としてこの本が何かしら貢献できると考え、最終的に出版していただくことにしました。

——石巻にいらしてどれくらいになりますか?

18年です。ロンドンの大学で日本語を学び始めて、在学中に短期のホームステイもしましたが、引っ込み思案な性格が災いしているのか、上達があまり実感できませんでした。卒業後、JETプログラムに参加して山形県の鶴岡に配属されました。素晴らしい方々に囲まれて、素晴らしい経験でした。任期を終えてイギリスに帰りましたが、日本で働きたいという思いがそこでぐっと強くなりました。修士課程で学びながら日本の大学の講師を目指して活動しているところに、鶴岡時代の知り合いから石巻専修大学が講師を募集していることを聞きました。そのような縁で、再び東北の地を踏むことができたのが1993年。

——石巻での生活は順調でしたか?

いいえ、最初の半年ぐらいで私はあまりの孤独に帰国を何度も考えました。そんな時に石巻JC(日本青年会議所)の方から市民劇団への出演依



永住者の在留資格を取得した時に仲間がパーティを企画してくれました。震災で亡くなった親友、譲ちゃん(高橋譲さん、前列左)も一緒に記念写真。

頼りが来て、そこから人生が大きく変わりました。JCを通じて多くの方と知り合い、かけがえのない仲間もできました。かれらと知り合ったおかげで石巻での生活がとても充実し、豊かなものになりました。

——そして、3.11を迎えられた。

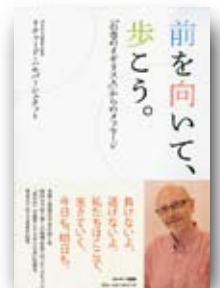
最初にもお話しした通り、私自身は幸運だったと思います。ですが、大切な親友夫婦を失いました。今でも信じられない思いと喪失感を引きずっています。ですが、亡くなった親友夫婦のためにも生きている我々は頑張らなくては、とほかの仲間とは話をしています。

——3.11の後、一時帰国をせずに石巻に留まった経緯について少しお伺いしたいのですが…

イギリス大使館は素晴らしい動きを見せました。有事にそなえて特殊な訓練を受けている在外公館スタッフが、世界中から日本に集結して被災地にいるイギリス人の保護と帰国の援助活動をすぐに始めました。私のところにも迎えが来たのですが、私は帰国するかどうか非常に迷いました。石巻の友人たちからは半ば冗談でイギリスでしっかり募金活動をしてこいと帰国を勧められたので、とりあえず中継地の仙台まで行き、そこで一晩悩みました。一睡もせず、翌朝「帰ります」と大使館スタッフに伝えました。ちょっときょとんとされたので、慌てて「石巻に帰ります」と付け加えました。私には親友を残してイギリスに帰ることはやはり考えられませんでした。大使館スタッフは私の判断を尊重してくれ、別のミッションで東松島に行く車に私を便乗させてくれました。私にあっけなく再会した友人は口々に「バカヤロウ」と言いましたが、それは私にとって最もうれしい「バカヤロウ」でした。あの時もイギリスに帰っていたら、私はずっと罪悪感のようなものを引きずっていたでしょう。私は正しい選択をしたと思っています。

——今後は「石巻人」としてどのようにお過ごしになるか、何かお考えがありますか?

津波は多くのものを奪い去りましたが、未来への希望、人のつながりやぬくもりまでは奪い去ることはできませんでした。上梓した本のタイトルは「前を向いて、歩こう」としましたが、この大好きな場所でひとりの「石巻人」として仲間を大切にしながら、元の生活を取り戻すためにできることからお手伝いしていきたいです。これまでやってきたバンド活動なども早く再開したいです。



「前を向いて、歩こう。」石巻のイギリス人からのメッセージ」サンマーク出版1,365円

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2012年2月～3月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2012	2	S	M	T	W	T	F	S	3	S	M	T	W	T	F	S
	2				1	2	3	4	3					1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10	
	12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17	
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24	
	26	27	28	29					25	26	27	28	29	30	31	

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

👤: 主催

📍: 会場

🕒: 時間

📄: 申し込み

💰: 参加費

☎: 電話

FAX: FAX

✉: Eメール

🏠: ホームページ

2月 FEBRUARY

2・3月 毎週土・日曜日

瑞巖寺ボランティアガイド

👤 松島善意通訳者の会

📍 瑞巖寺

🕒 10:00～15:00

📄 不要

💰 無料(但し、拝観料は各自負担)

🏠 <http://www.geocities.jp/matsushimagw/indexyotei.html>

2・3月 毎週金曜日

国際語エスペラント講座 塩釜教室

👤 仙台エスペラント会

📍 塩釜市港町2-3-11 ビルドスペース

🕒 12:30～13:30

☎ 電話・FAX・Eメール

💰 初回無料、継続はテキスト代等要

☎ 080-3198-4818(ビルドスペース)

FAX 022-389-1620(手塚)

✉ esperanto@goo.jp🏠 <http://www.birdoflugas.com>

8日

外国人のための無料相談(日本人も可)

👤 みやぎ行政法務研究会

📍 仙台国際センター研修室

🕒 15:00～18:00

💰 無料

☎ 0223-23-3925(事務局:シマヌキ)

11日

ラ・シャンドルー

(聖燭祭のクレープパーティー)

👤 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

📍 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ/

仙台市青葉区本町2-8-10-4・5F

🕒 未定 ※詳細は後日HPにて告知

📄 要予約

💰 未定

☎ 022-225-1475

FAX 022-225-1407

✉ contact@alliancefrancaise-sendai.org🏠 <http://alliancefrancaise-sendai.org>

国際協力セミナーin東松島

「それぞれの道を楽しむ子育て

～日本の子育て、途上国の子育て～」

👤 JICA東北、財団法人宮城県国際交流協会

📍 東松島市ひびき工業団地内 川下公民館

🕒 13:30～15:00

📄 不要

💰 無料

☎ 022-275-5540

✉ jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp

15日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

👤 宮城県行政書士会

📍 仙台市青葉区役所 4階 市民相談室

🕒 13:00～16:00

☎ 電話受付または予約なしでもOK

💰 無料

☎ 022-261-6768

FAX 022-261-0610

16日

巨大津波・その時人はどう動いたか(NHKスペシャル)

👤 アフリカ・セミナーの会

📍 仙台国際センター研修室

🕒 10:00～12:00

📄 不要

💰 700円

☎・FAX 022-362-7907

19日

ひなまつり交流会-Doll's Festival Event-

👤 日本伝統文化の会、(財)仙台国際交流協会

📍 仙台国際センター 交流コーナー内、研修室AB

🕒 12:00～15:00

📄 不要 ※文化体験には別売チケットあり。

☎ 022-364-9795

FAX 022-364-9576

✉ plan2@sira.or.jp🏠 www.sira.or.jp

22日

外国人のための無料相談(日本人も可)

👤 みやぎ行政法務研究会

📍 仙台国際センター研修室

🕒 15:00～18:00 ※2月8日に同じ

25日

全海研東北ブロック大会

国際理解教育シンポジウム

👤 宮城県国際理解教育研究会

📍 仙台国際センター 1F 交流コーナー研修室

🕒 14:00～16:45

☎ 電話・FAX (事務局長:仙台市立中田小学校 高橋哲哉)

💰 無料

☎ 022-241-2610

FAX 022-241-3969

～現地人との交流が温かい～

第7回ネパール交流ツアー

👤 日本・ネパール文化交流倶楽部、

📍 (株)ワールドトラベル

📍 羽田発～ネパール国内～成田着

🕒 2月25日 21:30羽田空港～3月4日

🕒 6:15成田空港着

☎ 電話・FAX・Eメール

💰 288,000円(一般料金)/

268,000円(交流倶楽部会員料金)

☎ 022-256-7851

FAX 022-256-7851

✉ japanxnepal@gmail.com🏠 <http://japanxnepal.blog83.fc2.com/>

26日

ひな祭り

👤 国際交流グループ萩の会

📍 仙台南成山

🕒 10:00～15:00

☎ Eメール(2月11日までに名前、連絡先、年齢、住所明記)

💰 1,000円

✉ world_peace_20021116@yahoo.co.jp🏠 <http://www.haginokai.com/>

3月 MARCH

3日

ワークショップ

『ネイティブのフランス語-慣用表現2』

👤 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

📍 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ/

仙台市青葉区本町2-8-10-4・5F

🕒 15:30～17:00

📄 要予約 ※定員に達し次第締切り

💰 会員:2,000円/一般:2,500円

(お茶・デザート付)

☎ 022-225-1475

FAX 022-225-1407

✉ contact@alliancefrancaise-sendai.org🏠 <http://alliancefrancaise-sendai.org>

ベネズエラ料理教室

👤 日本にムシカベネソラーナを広める会

📍 NPO会館 1階 オリーブの風

🕒 9:30～11:30

☎ Eメール

💰 1,000円(材料費のみ)

※料理教室参加の方は次の交流会に無料で参加できます。

✉ yokerecia@yahoo.co.jp

ベネズエラ交流会

👤 日本にムシカベネソラーナを広める会

📍 NPO会館 1階 オリーブの風

🕒 12:00～13:30

☎ Eメール

💰 2,000円(料理教室参加者以外)

✉ yokerecia@yahoo.co.jp

7日

外国人のための無料相談(日本人も可)

👤 みやぎ行政法務研究会

📍 仙台国際センター研修室

🕒 15:00～18:00 ※2月8日に同じ

15日

資源の呪い～核開発の歴史とウラン鉱山労働者の放射線被害

👤 アフリカ・セミナーの会

📍 仙台国際センター 研修室

🕒 10:00～12:00

📄 不要

💰 700円

☎・FAX 022-362-7907

お知らせ

倶楽部MIAの最新号およびバックナンバーはMIAのHPでもご覧いただくことができます。
URL : <http://mia-miyagi.jp/publication.html#mia>

18日

「東日本震災…語学人材はどう活かされたか」
平成23年度宮城県国際交流推進連絡会議
平成23年度MIA外国人支援通訳サポーター
災害時通訳ボランティア合同研修会
財団法人宮城県国際交流協会
エルソーラ仙台 28階大研修室
13:00～16:00
電話・FAX・Eメール
無料
022-275-3796
022-272-5063
mail@mia-miyagi.jp
http://mia-miyagi.jp/

ポーリング大会

国際交流グループ秋の会
未定 (Eメールにて要問合せ)
未定 (Eメールにて要問合せ)
Eメール (3月1日までに名前、連絡先、年齢、住所明記のこと)
world_peace_20021116@yahoo.co.jp
http://www.haginokai.com/

20日

フランス語圏まつり 2012
仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
仙台市民活動サポートセンター 市民活動シ
アター

仙台市青葉区一番町四丁目1-3

未定 ※詳細は後日HPにて告知
要予約
未定
022-225-1475
022-225-1407
contact@alliancefrancaise-sendai.org
http://alliancefrancaise-sendai.org

21日

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会
宮城県行政書士会
※2月15日に同じ



JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

参加者募集!!「世界の途上国 家族編」開催のお知らせ

毎年、青年海外協力隊経験者等が中心になって行っており
イベント「世界の途上国」が今年も開催されます!今回は、東京家
政学院大学大学院准教授である藤掛洋子氏を講師に迎え、『パラ
グアイと日本における地域おこし～支援の輪をつなぐもの～』と
いうテーマでお話をさせていただきます。他にも、JICAエッセイコン
テスト表彰式やプロの写真家による家族写真の撮影、世界中へ
ARIGATOというメッセージ発信等々の催しもあります。
是非お気軽にお越しください!

- 共催：宮城青年海外協力会、
宮城県青年海外協力隊を支援する会、
宮城県専門家連絡会、独立行政法人 JICA東北
- 日時：2012年2月26日(日) 11:00～16:00
- 会場：イオンモール名取エアリ イオンホール
- 申し込み：不要
- 参加：無料
- 問い合わせ先：deco_world@hotmail.co.jp(大友)

平成24年度JICAボランティア春募集の開始について

平成24年度JICAボランティア春募集について、4月1日(日)～
5月14日(月)の期間で、応募受付を行うことにいたしました。また
JICA東北やJICA宮城デスクにて個別対応をいたしますので、

JICAホームページにてご確認の上、お気軽にお問い合わせくだ
さい。

JICAホームページ <http://www.jica.go.jp/>

国際協力セミナー in 東松島「それぞれの道を楽しむ子育て～日本の子育て、途上国の子育て～」



保育士としての経験を活かしながらネパールで村落開発支援活動を
行っている桜井ひろ子氏に「日本と世界の子育て」をテーマにお話をし
ていただきます!

華やかなモンゴルの民謡と民族舞踊、世界の子供たちの写真展示な
ども予定しております。

是非お気軽にお越しください!

- 主催：(独)国際協力機構東北支部(JICA東北)、(財)宮城県国際交流協会
- 日時：2012年2月11日(土)13:30～15:00
- 場所：東松島市ひびき工業団地内 川下公民館
- 申し込み：不要
- 入場：無料
- 問い合わせ先：JICA宮城デスク
TEL:022-275-5540 Email:jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp

気仙沼市本吉地区に今年も外国人講師を派遣しました!

当協会では地域における国際理解教育の推進を目的として、外国人
講師を学校や公民館などに派遣しています。今年度は震災の影響で年
度当初こそ例年に比べ大幅に申し込みが少なかったのですが、昨年12
月ぐらいから申し込みが増え、最終的には例年程度の派遣回数となりそ
うです。

気仙沼市本吉地区においては、本吉町国際交流協会(会長:山内義夫
氏)の尽力もあり、ここ数年は毎年このプログラムをご活用いただい
ておりましたが、今年は移動手段となるJR気仙沼線が津波で一部流出し、
いまだに不通の状態でした。開催自体が危ぶまれましたが、日本各地か
ら当協会にお寄せいただいた「東日本大震災関連義捐金」を活用してレ
ンタカーを借り上げ、当協会の職員が講師を気仙沼までお送りすること

とし、今年度も無事開催にこぎつけました。

これまで、小泉小・小泉中・津谷小・津谷中・大谷小・大谷中・津谷幼稚園
と計3回、7校に派遣しましたが、派遣した外国人講師が元気いっぱい
の園児や小中学生から逆にたくさんの勇気をもらって帰ってきました。ま
た、プログラムの前後には各校の校長先生に3.11直後の緊迫した状況やまだ
厳しい現状を伺い、今回の震災被害の甚大さにただただため息がもれました。



MIA情報便



このコーナーでは、MIA宮城県国際交流協会の最近の動きをお知らせいたします。いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

「東日本大震災…語学人材はどう活かされたか」

平成23年度宮城県国際交流推進連絡会議

平成23年度MIA外国人支援通訳サポーター・災害時通訳ボランティア合同研修

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、国内のみならず全世界にも大きな衝撃を与えました。その結果、世界各国から支援の手が差し伸べられ、同時に世界各国のメディアによる取材も殺到しました。一方、16,000人余りの外国人が暮らす宮城県では、多言語による問合せへの対応、被災された外国人被災者支援のための通訳活動など語学能力を必要とする事案が相次ぎました。具体的にどのような場面で、どのような活動がなされたのかを検証することで、大災害時に求められる語学人材について理解を深めることを目的とします。

■日時：2012年3月18日(日)13:00~16:00

■場所：エル・ソーラ仙台 大研修室(AER28階 仙台市青葉区中央1-3-1)

■内容：基調講演「海外メディア同行通訳として被災地へ(仮)」、事例紹介とクロストークなど(予定)

■参加：無料

■対象：MIA通訳サポーター・ボランティア登録者、国際活動団体関係者、ほか関心のある宮城県民(50名程度)

●事前申し込みが必要です。お申込み、お問合せはMIAまで

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「にほんごこれだけ! 2」 監修:庵 功雄 発行:ココ出版

地域の日本語教室向けの教科書「にほんごこれだけ!」の続編です。外国人と日本人がトピックに即したおしゃべりをするにより、外国人の日本語習得の手助けをする、というコンセプトは前編と変わっていませんが、「2」は動詞の活用や複文などが取り上げられ、「1」「2」を合わせて「自分の気持ちを伝えるのに必要な最低限の文型」が身に付くようになっています。

「1」と同様に、動詞の活用表などが載っている「したじき」も付属しているので、日本語教育の文法に詳しくない人でも、「したじき」を指しながら、おしゃべりを続けることができます。

この本の著者のお一人の話によると、活動回数が限られている地域日本語教室では、従来の文型積み上げ型の活動より、実際のコミュニケーションを通して「通じた」「わかってもらえた」という鮮烈な体験をしたほうが、言葉の習得率は良いとのことでした。

毎回の活動のうち、20~30分でも本書のようなトピック型の教科書を使って、おしゃべり(「本当に言いたいこと」を伝え合うコミュニケーション活動)を取り入れてみてはいかがでしょうか。



サポーターの声

季 暁紅 (ジィ シャオホン) さん MIA外国人支援通訳サポーター (中国語)



MIAのサポーターとしての最初の活動は、2010年秋に行われたニューカマーのための生活適応支援プログラムでした。気仙沼に行き、津波・地震・火災などを体験するといった内容でした。久しぶりに中国人と会えて嬉しかったですし、プログラムも私にとって珍しく、とてもいい体験でした。

その後、何度かニューカマー支援プログラムに通訳として伺いましたが、いつも身近な内容で、ありがたく思っています。このプログラムで自分の理解が間違っていることに気づくこともありましたが(例えば、日本では自転車は左側通行など)。毎回とても明るい気分になって帰っています。

私は、MIAで日本語を勉強しているみなさんをうらやましく思うことがあります。いろいろな支援プログラムがありますし、それには通訳もついています。私が仙台に留学で来たばかりのころ、自分の気持ちを上手に伝えられず、病院に行くのに困ったことなどを思い出しました。

「MIA 外国人支援通訳サポーター」とは…

医療機関や保健機関、或いは行政窓口などからの通訳派遣要請に応じて登録サポーターを派遣します。また、スキルの向上を目指し、登録者対象の自主学習会が設けられ、言語ごとに研鑽を積んでいます。

賛助会員募集

MIA(財)宮城県国際交流協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人の輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。

●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
◎「MIA多言語から版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加者の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー 仙台支店 (株)ジェイティービー 東北石巻支店 宮交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター

●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。
◎所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.59

編集・発行 財団法人 宮城県国際交流協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/